

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：★D-23-2-2 事業名：防災拠点施設整備事業（荒浜小学校避難階段整備事業）		
事業費：総額 41,605 千円 国費 33,284 千円 （内訳：委託費 2,835 千円、工事費 38,770 千円）		
事業期間：平成 24 年度～平成 25 年度		
事業目的：沿岸部に近い荒浜地区は高台がなく、小学校を一次避難所として活用。小学校校舎東西に避難階段を整備し、児童・地域住民等が安全に避難できるようにするため整備を行った。		
事業地区：荒浜地区		
事業結果：避難階（鉄骨造り） 幅 6.73m × 奥行 4.75m × 高さ 11.74m 蹴上 16cm 以下 踏面 30cm 階段幅 1.4m		
事業の実績に関する評価		
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○沿岸部に近い荒浜地区は高台がなく、小学校を避難施設とすることで地区の一次避難場所が確保されたことにより地域の方等の安全確保が期待される。 ⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。		
② コストに関する調査・分析・評価 ○事業費の算出は公共工事積算基準等に基づき積算しているため、妥当な事業費であると判断する。また契約については、亘理町財務規則等に基づき適正に競争入札を実施しており、価格を低く抑えることができたと判断する。 ⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定事業期間	実際の事業期間
調査	平成24年 4月～平成24年 7月	平成24年 4月～平成24年12月
設計	平成25年 1月～平成25年 3月	平成25年 1月～平成25年 6月
工事	平成25年 8月～平成26年 1月	平成25年 8月～平成26年 3月
○概ね想定期間内で事業を進めることができた。		
⇒ 調査及び資材調達に時間を要したことにより、想定事業期間より整備に遅れが生じたが、工程の見直し等を図り効率的に事業を進めたことから事業手法として妥当であったと判断する。		
事業担当部局 亘理町教育総務課教育総務班 電話番号：0223-34-0509		